

③ 二級河川安原川広域河川改修事業 (金沢・野々市両市街地を守る馬場川放水路の完成)

受賞機関 石川県 土木部 河川課

キーワード コスト縮減、施工の効率化・合理化、環境保全対策、地域の活性化

全建賞審査委員会の評価ポイント

市街地を守る馬場川放水路の建設。市街地の住宅密集地の対策として放水路を選択し、土地区画整理事業の進捗を踏まえて施工の効率化・合理化に努めた点が評価された。

1. はじめに

安原川は、その源を手取川扇状地の扇頂部に発し、金沢平野を北に向かって流下し、二級河川犀川の河口近くに合流する流域面積25.1km²、延長12.1kmの平地型河川である。

発展著しい野々市市、金沢市の開発促進地域を貫流するため、急激な出水にも十分対応できるよう、石川県では昭和63年度より、犀川合流点からJR北陸本線上流付近までの二級河川区間6.1km及び馬場川放水路450mにおいて、拡幅・築堤・掘削を基本とした改修事業を進めている。

2. 事業の概要

馬場川放水路450m及びJR北陸本線横断部70mの区間については、下流から順次進めてきた安原川本川の改修や、放水路が貫流することとなる野々市市二日市市内の北西部土地区画整理事業の進捗を踏まえ、平成18年度より事業着手し、測量・設計、用地取得を進めた。平成30年度にJR北陸本線横断部70m、令和3年度に馬場川放水路450mの工事に着手し、令和5年5月末に完成させ、出水期（6月1日）に供用を開始することができた。



上流側から事業箇所及び馬場川流域を望む

3. 事業の成果

安原川の支川馬場川については、現河川が金沢・野々市市街地の住宅密集地内を流下していることと、JR北陸本線横断部（鉄道橋）、北陸自動車道横断部（ボックス）等、改築が困難な施設をかかえており、現河川沿いの改修は極めて難しいことから、JR北陸本線横断部の直上流において馬場川放水路450m（JR北陸本線横断部を含め520m）を整備し、安原川へ合流させることとしている。これにより、①約60億円のコスト縮減を図りつつ、馬場川流域の金沢・野々市両市街地について、安原川本川と同等の治水安全度が確保される。

また、②同放水路が貫流することとなる野々市市二日市市内の土地区画整理事業の進捗を踏まえて用地取得や開削工事を実施するなど、施工の効率化・合理化が図られた。

さらに、③分派点において分流堰を設置し、馬場川側の取水樋門により流量を調整することで、通常時は馬場川に維持流量を流下させ、沿川住民の生活に潤いをもたらすなどの河川環境の保全や農業用水機能の確保等による地域の活性化に寄与している。



馬場川放水路 計画平面図

4. おわりに

本放水路の完成により、馬場川沿川の地域の発展と住民の安全・安心につながっていくことが期待される。最後に事業推進に対して適切なご指導、ご尽力いただいたすべての関係者に厚くお礼を申し上げます。